

2015年(平成27年)5月26日(木) NO 98号

K-PURO NEWS

【事業所】

◆	社名	株式会社 ケイプロ	http://www.k-puro.co.jp
◆	商号	都市防犯プランニング社	mail info@k-puro.co.jp
◆	本社	埼玉県蕨市中央 1-7-1 シティタワー蕨	TEL 048-446-9445
◆	千葉支店	千葉県千葉市中央区新町 1-20 江澤ビル	TEL 043-243-6110

【業務内容】



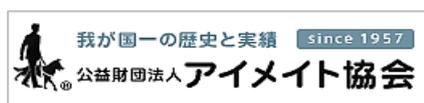
機械警備事業	弊社独自のセキュリティプランニングに SECOM・ALSOK・CSP のインフラを使用
防犯カメラ事業	周辺環境・建物構造・人的要因・犯罪データを分析し有効かつ適正な位置へ設置
メンテナンス事業	消防設備点検・工事から AED 幹旋に至るまでのメンテナンス業務の取扱い

【加盟団体】



RID2770	川口モーニングロータリークラブ	http://www.h3.dion.ne.jp/~mrc/
NPO 法人	さいたま起業家協議会	http://www.saitama-kk.org/
公益社団法人	千葉東法人会	http://www.chibahojin.jp/
一般社団法人	千葉市中央区倫理法人会	http://www.rinri-chiba.org/
公益財団法人	モラロジー研究所	http://www.moralogy.jp/

【応援団体・企業】



ごあいさつ



先を急ぐとき、エレベーターのかかった「定期点検中」の札を見たら、「まったく、こんなときに・・・」と思うかもしれません。
しかし、エレベーターを安全に使えるのは、整備をする人がいればこそです。

日常生活が当たり前に送れるものと思ったり、自分は他の人より一生懸命に仕事をしていると思ったりすると、その人たちの尊い努力が見えにくくなるものです。

私たちの生活は、なんらかの形で必ず他の人たちの支えを受けています。

そうした恩恵に心に向けることは、感謝と喜びのある生活を築く第一歩ではないでしょうか。

当たり前のことに気づき感謝できることって素晴らしいですね。 代表取締役 木戸 良樹

今月の良い話 「安酒は飲むな、いい酒を飲め」

私は大学を出て東京銀行へ入行後、程なく神戸支店へ配属となり、当時支店長を務めておられた木村喜八郎さんの秘書をしていた時期があります。

豪放磊落な木村さんは、仕事の後でよく

「おい牛尾君、飲みに行こう」

と、有名なアカデミーというバーへ私を連れて行き、若手行員にはなかなか手の届かない高級酒を振る舞い、労をねぎらってくださいました。

当時はまだ外国に行く人は稀でしたが、海外の勤務が長く、欧米の事情に精通しておられた木村さんは、これはアメリカのダレス国務長官が賓客に振る舞って喜ばれたレミーマルタンというブランデーなんだよ、などと蘊蓄(ウンチク)を傾けながら、「牛尾君、くだらん酒をたくさん飲むより、いい酒を飲めよ」と繰り返しておられたのが、いまでも大変印象に残っています。



私はその後、アメリカへ留学し、帰国後にウシオ電機を創業したため、あいにく木村さんと一緒にする機会はなくなりましたが、その代わりにしばしば酒席をともにさせていただいたのが、その頃から教を請うようになっていた安岡正篤先生でした。

ある時、木村さんから言われたことを思い出してお話すると安岡先生は、「いくら高いお酒でも、馬鹿話をしたり愚痴をこぼしながら飲むのでは、安酒を飲んでいるのと同じです。木村さんが君に伝えたかったのは、よき仲間と人生や世界を語り合いながら飲む酒こそが酒だということです」

と、お話の真意を説き聞かせてくださったのです。

確かに木村さんは、グラスを傾けながらさりげなく貴重な人生訓、仕事訓を私に与えてくださっていました。

酒が原因で遅れてくる人間は信用されない。飲んだ翌日こそ早く出社しなさいという教えなど、若い自分を鍛えていく上でどれほど役に立ったことでしょう。



安岡先生とのその時のやり取りには続きがありました。

私が納得して、「分かりました」

と答えると、

「こういうことは、簡単に分かってもらっては困ります」

とおっしゃるのです。

自分で実際に試してみても初めて肚(ハラ)に落ちるものであって、軽率な理解というのが一番危険だということでした。

安岡先生からそうした貴重な訓戒をいただきながら飲む酒こ

そは、まさしく無上の高級酒でした。

安酒は飲むな、いい酒を飲め。

よい仲間と、人生を語り、友情を語り、歴史を語り、世界を語り、限られた時間を有意義に過ごしていきたいものです。

////////////////////////////////////

ウシオ電気会長 牛尾 治朗

記事提供 到知出版社

今月の良い話 「三方よし」

昭和3年3月、廣池千九郎は、門人2人とともに特急富士で山陰線を西に向かっている途中、トンネルが崩れ、列車は山口県三田尻の手前の戸田駅で立ち往生しました。午後7時までに三田尻に到着する必要があった一行は、戸田駅前まで1台だけあったタクシーと交渉し、約16キロの道程を20円で行くことで話がまとまりました。



ところがそこへ、長崎に行かねばならない44歳の会社員と、親が危篤の女学生が「いっしょに乗せて欲しい」と頼んできました。その頼みを聞いた門人の1人は、簡単に「よろしい、乗っていきなさい」と言ったので、その二人も車に乗り込もうとしました。その瞬間、廣池千九郎は

「ちょっと待ちなさい」と言い、

「わたしたちは3人で20円の契約をしたのです。

いま、あなたたち2人が乗ればそれだけ重みがかかって、3人のところ5人乗りますからそれだけガソリンがよけいにいるでしょう。それにタイヤもいたむでしょう。わたしたちも1人5円ずつ出しますから、あなたたちも1人5円出さない」

と話をしてから、運転手にそのことを確認しました。

運転手はそれに承諾し、廣池千九郎はさらに二人に向かって

「わたしたちは最初、20円で契約をしたのだから、あなたたちを無料で同乗させてあげることは、少しもさしつかえないが、そういうことをしたのでは、運転手さんは契約と違うから、不愉快思いをしなければならないでしょう。

そこであなたたちお金を少し出せば、それだけ運転手さんに多く払うことになり、あなたたちも都合よく気軽に乗ってゆかれるし、またわたしたちも窮屈な思いはしなければならないが、5円だけ安く行けることになるので、これで三方どちらも、よいことになるでしょう」

と話しました。

さて、この事例から、わたしたちは何を学ぶことができるでしょうか。

もっとも重要なことは、廣池千九郎がこの場合の第三者であるタクシーの運転手に配慮している点です。

わたしたちは多くの場合、最初の3名と新たに加わった2名との合計5名で、当初のタクシー代20円をいかに公平に分担するかを考えるだけで、運転手(第三者)のことまでなかなか考えが及ばないものです。

わたしたちは常に第三者の存在を考えながら、問題解決にあたることが肝要でしょう。

事件ファイル NO98 自転車盗

発生日時 平成 28 年 5 月 8 日 (日) 18 : 46 ごろ

発生場所 千葉県松戸市

犯行状況

犯人は人通りのないマンション裏側フェンスを乗り越え、周囲を気にしながらも被害自転車の前に迷うことなく立った。

この行動から、犯人は事前に下見を行っていたものと推測される。

ショルダーバックから金切りカッターを取り出し、ワイヤーチェーンを容易に切断し、スポーツ型自転車 (5 万円相当) を窃取したものの。

侵入から逃走まで僅か 1 分半の短時間での犯行であった。

身長約 160cm・20 歳前後と見られる。

被害防止のため、最低でもツーロックを推奨します。



プロ太の小話集 NO98 『 ノーマン 』

社員 A 「君は本当に社長のイエスマンだな・・・。」

社員 B 「それは違ってる！」

社員 A 「というと？」

社員 B 「私はイエスマンではない！ 社長がノーと言ったときは、ちゃんとノーと言う・・・。」



今月の K-PURO ニュースいかがでしたか？



川口モーニングロータリークラブ 30 周年記念式典・祝賀会を 5 月 15 日 Hilton 東京お台場において 257 名の大勢の皆さまにご参加いただき無事終了することができました。

多くの方からお褒めの言葉、お手紙、そしてメールを頂戴し、実行委員長として本当に感無量です。

やり遂げた感 MAX です。本当に充実しました・・・。(写真は若手で私のとても大切なメンバーたち)

こういう貴重な経験は、人間を一回り大きくしてくれる気がします。

大役こそ断らず、まず実行してみる。これにより、きっと新たな自分に出逢えるはずです。

昔は地味で引っ込み思案だったのに、人間って変わるものですね・・・。

注:プロ太とは、写真のK-PURO番犬です (体長 10 メートル・体重 1 トン・無敵無敗)